

□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成 28 年 2 月 15 日 Ver.1

テーマ	地籍調査における衛星測位技術の利活用に関する実証実験	
実証参加機関 (共同機関)	金沢工業大学	
目的	<p>平成 26 年度末時点での全国の地籍調査の実施状況を見ると進捗率は 51%と低位である。特に都市部及び山間部において地籍調査が進捗していない。</p> <p>地籍調査には主に技術的な問題と土地所有者間の境界決定に関する問題およびこれらに密接に関連する法的な問題(不動産登記法第 14 条 1 項地図)がある。今回の実証実験では地籍調査の技術的な問題を中心に、地籍調査の進捗率を上げるため衛星測位技術を効果的に使用できる手法を見出す。</p>	
期間	全体	2016 年 3 月 7 日 ~ 2016 年 3 月 11 日
	時間・頻度	<ul style="list-style-type: none"> ●時間: 9 時~17 時 ●頻度: 3 月 7 日~3 月 11 日の間毎日
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ●地名: 石川県 野々市市 金沢工業大学 ●環境: キャンパス内の建物屋上(オープンスカイ) ●その他: 特になし 	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	<p>準天頂衛星と GPS のデータを別紙の方法で定点測位 (借用機材は一昨年、昨年に貸与していただいたものと同じ) 別紙参照</p>	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	<ul style="list-style-type: none"> ●実証概要 GPS のみを用いた場合と GPS および準天頂衛星を用いた場合の精度検証。 ●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) 準天頂衛星の有無、LEX 信号の受信有無による測位精度の誤差を定量的に検証。 ●確認時期 実験終了後に解析を行う。 	
受信信号	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する測位信号名を記載 ・GPS: L1C/A、L1C、L2C、L2P ・QZS: L1C/A、L1C、L1-SAIF、LEX 	
受信設備	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する測位信号受信機などを記載 ■貸与品目/数(LEXR/1 セット および 信号分配機) □持込品目/数(/) 	
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ●測位結果確認ソフトウェア ■RTKLIB <p>RTK-GPS 用に C 言語で記述された簡潔で可搬性の高い RTK-GPS 測位演算ライブラリおよびそれを利用したアプリケーションプログラム集</p>	
実証前の要求事項		
実証時の要求事項		
実証後の要求事項		
その他		

別紙

